

第6次津久見市総合計画・第3期津久見市総合戦略 議会意見とりまとめに対する回答

資料2

第6次津久見市総合計画について

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
1	(4) 津久見市の現状整理人口			○		人口 - 10.4% このときの県平均が3.4% 他市に比べて著しい人口減少をどう分析していますか ・自然減 ・社会減・・・この原因は？ 30代前後の家族の転出が多い理由をどうとらえているか	経営政策課	ご質問の人口減少率についてはH27とR2の国勢調査人口の比較になりますが、社会減については、断定的なことは言えませんが、要因としては若年層の進学・就職による転出や帰郷数の減少が考えられます。また、30代の家族の転出が多い理由としては、生活の利便性や子どもが少ないことによる、教育面、交流面への不安、高校の進学先に近い場所への転出などが考えられます。自然減については、出生数の減少と高齢化等による死亡数の増加です。
2	Q津久見市のいいところ			○		2地域の人々がやさしく、親しみがある 32.3% どのような場面で親しみがわくととらえているか。 (例) 町内会・地域行事・学校行事 等	経営政策課	回答された方の年齢や性別お住まいの地域などその方の属性などによって感じられる場面は様々だと思いますが、例えば、例にあげていただいているような地域での行事を通じた交流や隣近所での声掛けなど、地域の人を身近に感じることをきっかけに親しみを感じるのではと推測しております。
3	ヒアリング			○		改善策・アイデアはこれからどう生かしていこうとしているのか？	経営政策課	例えばですが、農林水産物の高付加価値化やブランド化、販路拡大のほか雇用・就業機会の拡大などの改善策・アイデアなどをはじめとして、いただいた意見を可能な限り計画に盛り込んでいます。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
4	目指すべき方向性		○			地域資源＝「地域の力」という位置づけは、まったく賛成です。そして、これを増強させるということと、人口減少対策につなげるという考えは賛成です。「人と人のつながり」が活気あふれる地域を作り、そこ生活する人がより「幸福感」を持ち続けられる。そのような政策に邁進していくことが大切であると考えます。住みやすい地域は、子どもたちにとっても「安心して学校生活がおくれる地域である」ことにほかならないと考えます。	経営政策課	「地域の力」は産業面や地理的な環境による優位性、自然、人のつながりなど、津久見市が持つ様々なものを指します。津久見市では地域のつながりが強みと捉えられており、今後のまちづくりにおいても重要な要素と考えております。学校生活に限らず、子どもたちが地域で安心して暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えております。
5	やっぱりいいやん、つくみ		○			このフレーズは大賛成です。 「地域とのつながり」が津久見市最大の強み。「地域の力」を最大限に発揮する。この中核となるのが学校の存在であると認識していただきたい。 P3 多様な「人財」を育む地域～人が育ち、地域がつながる～ 多様性を認め合う心の醸成、伝統芸能や地域文化の継承 地域コミュニティの維持・強化を図ること 都会にあって田舎にないものはたくさんあるけれど、田舎にああって都会にないものは「身近な高齢者」であるということ。人口密度は低いけれど「知り合い密度」濃い、ということを最大限に活用してほしい。	経営政策課	ご意見いただきましたように、地域のつながりも、まちづくりに十分に活用していきたいと考えております。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
6	財政裏付けが不十分		○			各施策のコスト見積もり、財源（地方債、国補助、民間連携等）、優先順位が不明確。特に上下水道更新・道路・港湾整備・新市庁舎建設後の周辺整備や旧市庁舎解体など大型投資の財政計画が要検討。※下段の要望に続く	経営政策課	財源の裏付けなしに全体の事業執行をどうするのかと、ご心配いただいた視点からのご質問と理解しております。 ご承知のとおり、毎年、今後必要な事業や経常的に必要な扶助費や人件費など市全体の事業を踏まえた中期財政計画を作成しており、そういった中で、財政見直しを作成しておりますので、別の場面でご説明したいと思えます。いずれにしても、事業の実施においては、財政規律を守りながら進めていきたいと考えております。
7	財政見通しの作成	○				主要施策（上下水道更新・道路バイパス・港湾整備・新庁舎周辺整備）の個別コスト、想定財源、実施タイミングを示した財務スケジュールを作成	経営政策課	
8	第1回津久見市総合計画審議会 議事概要 資料3関係		○			資料3-2の「将来津久見市に住みたいか」という設問における結果を踏まえ、将来子どもたちが住みたいと思ってもらえるように、今後のまちづくりについて考えていくべきである。 ・・・この意見を、特に大事にすべきではないか？	経営政策課	資料3-2はアンケートの速報となっており、第2回審議会資料1-2が高校生アンケートの詳細分析を行ったものとなっております。今回のアンケートについては、津久見市内在住の生徒だけでなく、市外から津久見高校に通学する生徒も含まれております。14ページをご覧になっていただくと、津久見市内に在住の方は、比較的津久見市に住んでもいいという回答になっており、市外在住の方が住みたいと思わないという回答が多くなっておりますが、その方々については、津久見の生徒と同様、地元に着着を持っている方々ではないかと推測しております。いずれにしましても、市の中心部の活性化をはじめとする魅力的なまちづくりや若い人たちが働きたいと思ってもらえるような場の確保などを行っていきたいと考えております。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
9	第6次総合計画に関する総評	○	○			第6次総合計画の素案は理念の更新（Well-Being × EBPM）や計画構成の近代化という点で高く評価できます。一方で「実行の精度」（KPIの数値化・財政裏付け）が不十分なため、現段階では「方向性は良いが実行性を高める作業が不可欠」というのが総括です。まずは KPIの完全化と財政見通しの確立（短期）を最優先で進めることを強く推奨します。	経営政策課	総合計画審議会において概ねの方向性の賛同が得られたため、現在KPIの設定を行っているところですので、早めにお示しをしたいと考えております。 財政見通しについては、ご承知のとおり毎年、中期財政計画を作成しております。
10	全体		○			KPIの設定を早く完全化し、総合計画審議会に諮る前に議会特別委員会での意見交換を御願いしたい。	経営政策課	承知いたしました。
11	全体	○				第6次津久見市総合計画には、市民の生活実感に根ざした「地域経済循環の強化」という視点がやや不足しているように感じます。資本主義社会では、富が時間と共に一部の金融資産層に集中する傾向があると指摘されています（経済学者 トマ・ピケティ「21世紀の資本」参照）。その結果、地域における可処分所得が減少し、地方の衰退につながる危険性があります。地方が持続的に発展するためには、「市民の暮らしが毎年少しずつ向上する」仕組み、すなわち安定した所得向上と生活コストの適性化が欠かせません。しかし、津久見市では近隣市と比較して、スーパーマーケットやドラッグストア、燃料価格などがやや高い傾向にあり、税負担も相対的に重く感じられます。その一方で、市民の収入は大きく伸びておらず、家計への圧迫が続いています。とりわけ高齢化率が48%に達する中で、多くの高齢者が貯蓄の目減りや将来への不安を抱えて生活している現状があります。こうした状況を踏まえ、総合計画の中に「市民所得の向上」と「租税・物価負担の軽減」を一体的に捉えた経済施策を明確に位置づけていただきたいと思います。市民のウェルビーイング（幸福度）を支える最も大きな基盤は、安定した経済です。地域における富の循環を促進し、暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを、今後の計画にぜひ反映していただきたいと思います。	経営政策課	市民アンケートの中でも、働く場所がないというようなご意見が多くありましたので、新たな雇用の場の確保や企業誘致、マルチワーカーの仕組みなど、市民の所得向上や若者の雇用の確保にもつながるような取組を進めていきます。 そのほかにも、一次産業の推進、市中心部の活性化等による地域の活性化なども含めて安定した経済基盤の確立を目指します。 また、総合計画は今後の10年を見据えて、津久見市が各分野で取り組む施策をまとめるものでありますが、租税・物価負担の軽減などの経済施策については、国が実施すべきものと考えておりますので、市の総合計画に記載することにはなじまないと考えております。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
12	子育て支援		○			子育て世帯が将来的に市外への転出を考えている方が半数以上との事で、これは、若年層の人口流出につながる。この流出の理由を何だと考えますか？その答えが次の対策になるのではないかな？	社会福祉課 経営政策課	原因として考えられるのは、13歳以降の子育てニーズへのミスマッチ 現在津久見中学の卒業生の約7割が市外に通学しています。それ以前に子どもの進学等を見越して市外に居を構え市内に保護者が通勤する家庭もあります。津久見市の子育て施策は、未就学児から小学生までは施策が充実し評価もそれなりに頂いているが、中学・高校と進学するにつれて、その施策が学生や保護者のニーズとマッチしているとは言い難く、市外に通う高校生年代の施策は未整備状態に等しくなっています。しかしながら市外通学は金銭的・時間的に制約が大きく、結果として市外流出を招く大きな要因となっていると考えます。ただし、義務教育後を見据えた支援であり、こういう観点からの調査等もこれまで明確になされてこなかったこと、また教育的要素も強いことから、市全体としての横断的な対応が必要だと考えています。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
13	道路ネットワーク 保戸島架橋		○			以前より保戸島架橋について議論はされているが、進捗状況はどうなっているのか？と感じます。今後、船舶・船員の問題も出てくると思うので、方向性だけでも出して欲しい。	土木管理課	平成17年に発足した期成会を令和3年11月に「保戸島・四浦間架橋建設等道路整備促進期成会」として再構築しました。令和5年8月に同会において決議した架橋建設を含む道路整備の実現について、同年10月に大分県知事を訪問し直接要望をいたしております。以降、期成会内に島民を中心とする架橋に特化した専門部会を組織し、保戸島振興のビジョン作成や架橋建設のメリット・デメリットの調査・分析及び架橋建設へのアピールを目的に島特産品を各イベント開催時に出店・販売のするなど、架橋建設に向けて気運の醸成を図るべく活動しております。このように架橋建設等に向け活動に取り組んでいるところですが、架橋建設時期は現時点では見通しが立っていない状況です。その実現には、かなりの時間を要するものと考えておりますが、大分県や関係機関などと連携し、また、保戸島、四浦、日代地区の皆様と一緒に、取り組んで行きたいと考えております。
14	土木管理課 施策①			○		(保戸島架橋) 現状はどこまで進んでいるのか	土木管理課	
15	施策② 中心市街地の 利便性・魅力 向上について				○	周遊性向上による商店街の振興と記載があるが、提案としてグリーンスローモビリティを活用し、新庁舎～つくみん公園～中心市街地の周遊性向上を図ってみてはどうか。	・経営政策課 ・商工観光・ 定住推進課 ・まちづくり 課	大変面白い取組と考えますが、こういったルートを運行するのにかにもよりますが、道路も広くないことなどから、他の交通の妨げになることや事故につながる可能性も大いにあると思われますので、慎重に検討したいと思います。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
16	市民生活課 施策② 消費生活			○		地元の商店の利用促進も必要ではないか？	商工観光・定 住推進課	施策②「16商業」で、まずは事業承継・新規創業等への支援にて商業機能の保持を図っていきます。一方で、住宅地としての利活用や、商業・文化・交流機能の複合的な展開など、中央町の特性や地域資源の活用、津久見市の将来までを見据えた多様な再編の方向性を検討します。
17	商工観光・定 住推進課 策②		○			移住定住のためのワンストップ窓口の設置・・・早めに進めることが大切であると思う	商工観光・定 住推進課	移住定住促進、就労支援等を推進するための環境整備について関係機関と協議検討しています。
18	港湾の整備に ついて		○		○	地球温暖化はもはや歯止めがかからなくなっており、（井戸川の独自レポート参照）今後気候変動はこれまで以上に脅威となる。国土交通省は将来的な海面上昇への備えで、港湾の協働防護のガイドラインを令和7年6月に公表し、今後は港湾の海面上昇に対する取り組みを進める方針である。津久見市の港湾における長期計画の中に、将来的海面上昇への備えで『港湾の協働防護』も加えて頂く事を検討して頂きたい。	土木管理課	港湾管理者である大分県へ伺ったところ、「今年度通知があったばかりであり、国の協力を得ながら対応を検討したい。」とのことです。本市といたしましては、今後も国・県の動向を注視してまいりたいと考えております。
19	学校教育課 施策⑤			○		地域とともにある学校づくり 「児童数が少なくなっている、社会性が育たない」という意見があるが、地域の協育力が大きいのが津久見市の特徴である。それにより、児童の社会性が育まれるので、この取り組みをさらに発展していったきたい。	学校教育課	地域とともにある学校を目指し、更に地域との連携を強めていきたいと考えています。学校運営協議会の改善を推進し、保護者や地域住民の参画意識を高めていきたいと考えています。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
20	学校教育課 施策⑤	○				地域ともにある学校づくり 1市1校の津久見高校は、津久見市にとってなくてはならない存在である。存続に向けての取り組みを深めるとともに、生徒数確保に向けて、寮の整備や地元就職を促す政策が望まれる。	学校教育課	津久見高校は津久見市の子どもたちにとって、なくてはならない大切な進路先です。津久見高校魅力化推進PT等の取組を推進していきたいと考えています。
21	学校教育課 施策⑥		○			教育環境の整備 千怒小学校・津久見小学校の早急な改修が必要である。	管理課	津久見市学校施設長寿命化計画の中で、個別の対応については記載しており、千怒小・津久見小については、令和12年度までに長寿命化改修という計画となっています。しかし、方針の見直しもあり得ると考えています。千怒小については、改修の規模は検討中ですが、令和9年度実施に向け準備を進めています。津久見小については、現計画に沿って令和12年度までに実施したいと考えていますが、時期については、市長部局と協議を継続しています。
22	生涯学習課 施策①			○		公民館機能を旧第二中学校跡地に計画的に移転・・・現在の市公民館の移転後のことも考えているのか。そのままでは、また廃墟となるのではないのか。	生涯学習課	市公民館は昭和50年に建設され、現在、建物の老朽化が進んでおり、大規模な改修が必要となっています。公民館機能については、旧第二中学校跡地への計画的に移転することとしていますが、移転完了後の現公民館については、解体し、有効な土地利用を考えていきます。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
23	生涯学習課 施策①				○	「地域協育力」向上施策の内容をどう考えているか？	生涯学習課	家庭・学校・地域社会の連携事業により、週末や放課後における子どもの居場所づくりや体験学習の充実により、確かな学力と豊かな心の育成を目指します。授業の行われていない土曜日や放課後、長期休暇を活用して子どもたちに学習支援を実施することで、学習習慣の定着や基礎学力の向上を図ります。 ○実施事業：土曜寺子屋つくみ塾・放課後学習クラブ・春の学習クラブ・夏の学習クラブ
24	施策② 伝統文化・文化財の保存・活用と継承				○	市外の津久見出身者にSNSでの積極的な情報発信。津久見出身者が集まる場等で、伝統芸能や行事の様子を見てもらう回数を増やす。その事により郷土愛を醸成し、行事期間だけでも帰省してもらう心理的アプローチ。担い手不足解消の一助になれば。	生涯学習課	ホームページやSNSなどのインターネットを活用し、文化財に関する情報発信を行うにあたり、市民や津久見出身者が興味を持ちやすい、質の高い情報発信を目指してまいります。ご提案にありました郷土愛の醸成に関する施策については、今後の参考にさせていただきます。貴重なご提案ありがとうございます。
25	スポーツ・レクリエーション		○			スポーツ人口が多いですが、それを支える施設の老朽化が気になります。市外からも利用する方が多いので、設備面の整備・強化が必要なのでは？「スポーツの町づくり」として再起出来る環境の整備が必要とともに、街づくりのカギになるのでは？	生涯学習課	体育施設の老朽化が進む中で、各施設の改修や維持管理を計画的に進める必要があります。利用者に不具合が生じないよう、施設の緊急性や重要性を考慮した上で、優先順位をつけ、有利な財源を確保しながら計画的に改修整備を進めてまいります。
26	地域コミュニティ	○				P20 地域コミュニティ 小中学校における地域とのつながりに関する教育の導入は重要項目だと思うので、今まで以上に進めていく手立てを、検討して行っていただきたい	学校教育課	これまでもふるさと教育や学校ごとの教育課程において地域とのつながりは大切にしてきました。今後は小中学校の教職員や児童生徒への負担も考慮しながら、更なる取組を検討したいと考えています。

第6次津久見市総合計画・第3期津久見市総合戦略 議会意見とりまとめに対する回答

第3期津久見市総合戦略について

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
1	生涯学習・スポーツ			○		公民館機能の移転について、どのような議論がされたか、どのような案が出たのか。進捗状況などについて知りたい。	・生涯学習課 ・経営政策課	公民館機能の移転については、第二中学校跡地利活用PT庁内検討委員会で議論を進めてきました。基本方針は公民館機能を核とした公共施設の集約で、具体案が固まり次第、地域住民を交えた協議の場を設け、より実効性のある施策を策定します。なお、今年度中には公民館のサテライト施設として活用する予定です。
2	津久見高校と連系強化	○				今後どういう方向性なのか、分かった段階で少しずつで保護者に対して知らせて欲しい。今から進学していく子どもの為にできる情報提供は必要だと思う。（目安をつけられるように）	学校教育課	津久見高校の方向性は、全小中学生配布の津高通信、HP、FB、インスタで発信しています。高校と小中学生及び保護者をつなぐ取組が必要と考えています。
3	ゆかりをつないだUターンなどの移住の促進		○			資料1-1-P17のアンケート調査は、高校生が対象。高校生は市外在住者も多く、本当に津久見を思う心があるのか？と疑念を抱く。中学生・小学生のうちから津久見に対する愛着が沸く取組みが急務なのではないか？	学校教育課	高校進学を契機に津久見とゆかりを持つ生徒は大切と考えています。津久見のイベント参加等により津久見への関心を高めていきます。小中学生はこれからはふるさと教育を推進し、津久見を愛する児童生徒の育成を目指します。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
4	基本目標②		○	○		<p>(学校教育)</p> <p>学校施設の安全・安心を確保しつつ、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備について、長寿命化改修等を通じた計画的・効率的な推進</p> <p>・・・千怒小・津久見小の改修の計画を示すべきであるが、どのように考えているか。</p>	管理課	<p>津久見市学校施設長寿命化計画の中で、個別の対応については記載しており、千怒小・津久見小については、令和12年度までに長寿命化改修という計画である。しかし、方針の見直しもあり得ると考えています。</p> <p>千怒小については、改修の規模は検討中ですが、令和9年度実施に向け準備を進めています。津久見小については、現計画に沿って令和12年度までに実施したいと考えていますが、時期については、市長部局と協議を継続しています。</p> <p>その他の学校施設については、改修が必要な箇所の把握に努め、早急な対応が必要な場合を除き、計画的に実施していきたいと考えています。</p>
5	基本目標③		○	○		<p>誰もが安心して生活の豊かさを実感して暮らせるまち</p> <p>「立地適正化計画」・・・コンパクトシティの実現をめざすのはいいが、新しいまちづくりの課題は「選択と集中」であると考え。財政的に考えても、どのようなものがあつてどのようなものを集中させなければならないのかを真剣に議論していかなければならない。そのためには、基本構想の「地域コミュニティ」「人と人とのつながり」がキーワードとなると思う。その核となるのが学校と考えてよいのか？</p>	総務課 学校教育課	<p>主体的・対話的で深い学びを目指す学校教育として、地域コミュニティの人材・資源は大切と考えています。人と人とのつながりを活用し、問題解決や創造に向かう学びを目指したいと考えています。</p>

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
6	基本目標④			○		津久見との「ゆかり」を大切に、新しい人やモノの流れをつくるまち 津久見出身者が集う場での情報発信は、どのような場面を考えているか？	経営政策課	既存の在京津久見人会や津久見高校同窓会などの場面に加えて、各小中学校や津久見高校の卒業生などで行われている個別の同窓会などについても、会の開催の情報が把握できる仕組みも検討しながら、情報発信の強化に努めていきたいと考えています。
7	基本目標④				○	津久見との「ゆかり」を大切に、新しい人やモノの流れをつくるまち 「同窓会開催条例」なるものを作り、「ゆかり」を戦略とする手立てを考えられないか？	経営政策課	一方で条例制定については、機運を高めるという意味合いかと思いますが、立法事実がどこまであるのかということも重要になってきますので、まずは、できる取組から進めていきたいと考えております。
8	KPIについて			○		総合戦略全般に言えることであるが、KPI（重要業績評価指標・中間目標・プロセスの目標数値：目標達成に向けたパフォーマンス状況測定のため）を達成することで、人口対策にどれだけの効果を発揮することができるのか？	経営政策課	人口減少が続いている状況ではありますが、総合戦略にかかる取組を実施していなければ、更なる人口減少が進んでいたのではないかと考えております。ご質問の件につきまして、KPIの達成状況がどの程度人口対策に効果があったかを数値的にお示しすることはできませんが、目標達成に向けて取り組んできたことは、少なからず効果があったと認識しております。

第6次津久見市総合計画・第3期津久見市総合戦略 議会報告会意見に対する回答

第6次津久見市総合計画について

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
1	第5次の総合計画の検証について			○		第5次の総合計画の検証はどのようになっているのか	経営政策課	第5次津久見市後期基本計画の検証については、①「市民アンケートによる現在の施策の満足度と施策の今後の重要度の散布状況」、②「Well-Being主観指標と市民アンケートによる施策の今後の重要度の散布状況」、③「市民アンケートによる現在の施策の満足度と施策ごとのKPI達成率の散布状況」の3種類の分析による評価を行いました。散布図の中で、①②については、満足度は低いが高重要度の施策、③については目標の達成率は高いが、市民の満足度が低い施策を、優先的に改善・見直しが必要な分野と位置付けました。そして、①②③の種類の分析のうち2つ以上で、優先的に改善・見直しが必要となった施策を特に優先的な改善・見直しが必要なものとして位置付けました。具体的には、学校教育の充実、社会教育の充実、スポーツ・レクリエーション活動の推進、青少年の健全育成、地域文化の伝承と芸術文化活動の充実、水産業の振興、鉱工業の振興、情報通信基盤の整備、景観の保全・整備、安定した地域経営の推進が該当します。そういった分野を踏まえながら、全体的に見直しを行います。

No	項目	要望	意見	質問	提案	内容	担当課	回答
2	商業		○			人手不足の中での外国人材の活用や共生をどう考えているか、また、飲食店の確保など10年後を考えたときに、こういった取組をしていくのか。	商工観光・定住推進課	<p>労働力の確保は重要な課題であり、総合計画においても外国人労働者の雇用支援を図ることとしています。また、総合戦略においても、雇用のために必要な、地域での共生等を図ることとしています。</p> <p>また、飲食店の確保については、津久見で何か商売をしたい人を後押しする創業支援補助金などによる支援、事業承継のための津久見商工会議所との連携による相談会の実施などで、店舗数の確保を図っていきたいと考えています。</p> <p>あわせて、市中心部の再編や中心市街地の活性化を図るために、商業関係者だけでなく、行政や学識経験者、まちづくり関係者などを巻き込むとともに、中心となるキーパーソンを発掘・育成し、にぎわい創出を図ることとしています。</p>